

事業成果報告書（概要版）

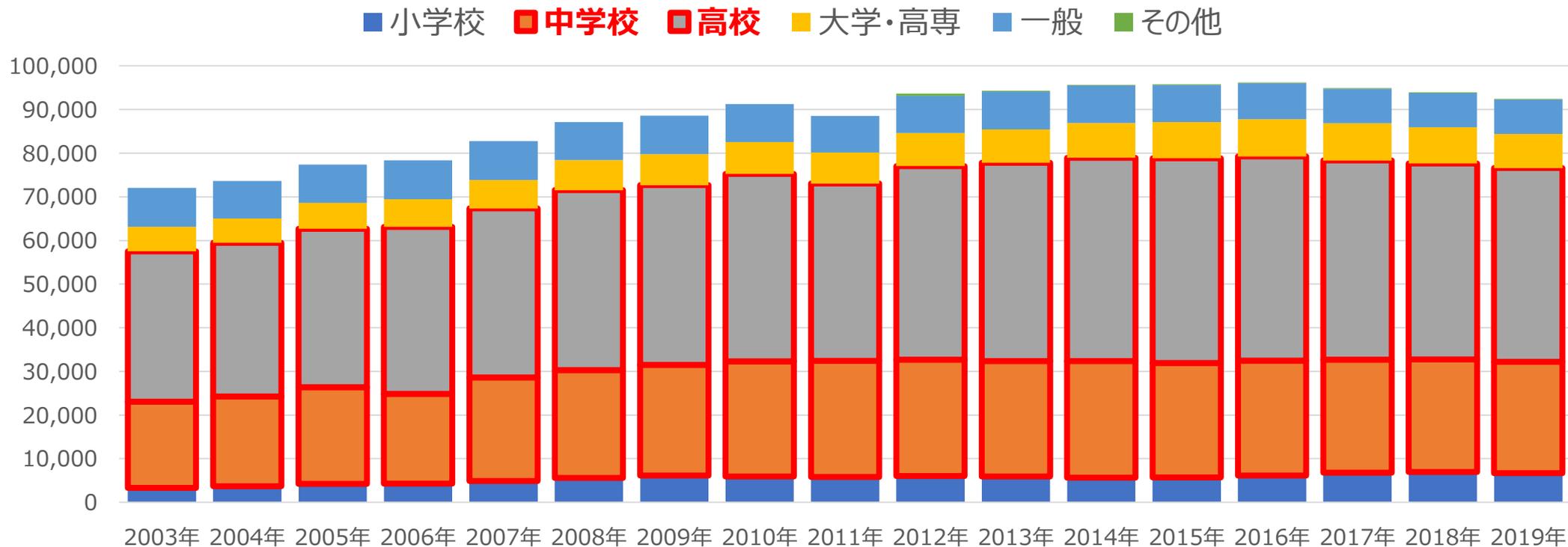
中央競技団体の経営力強化推進事業 -令和2年度実施報告-

公益財団法人 日本ハンドボール協会

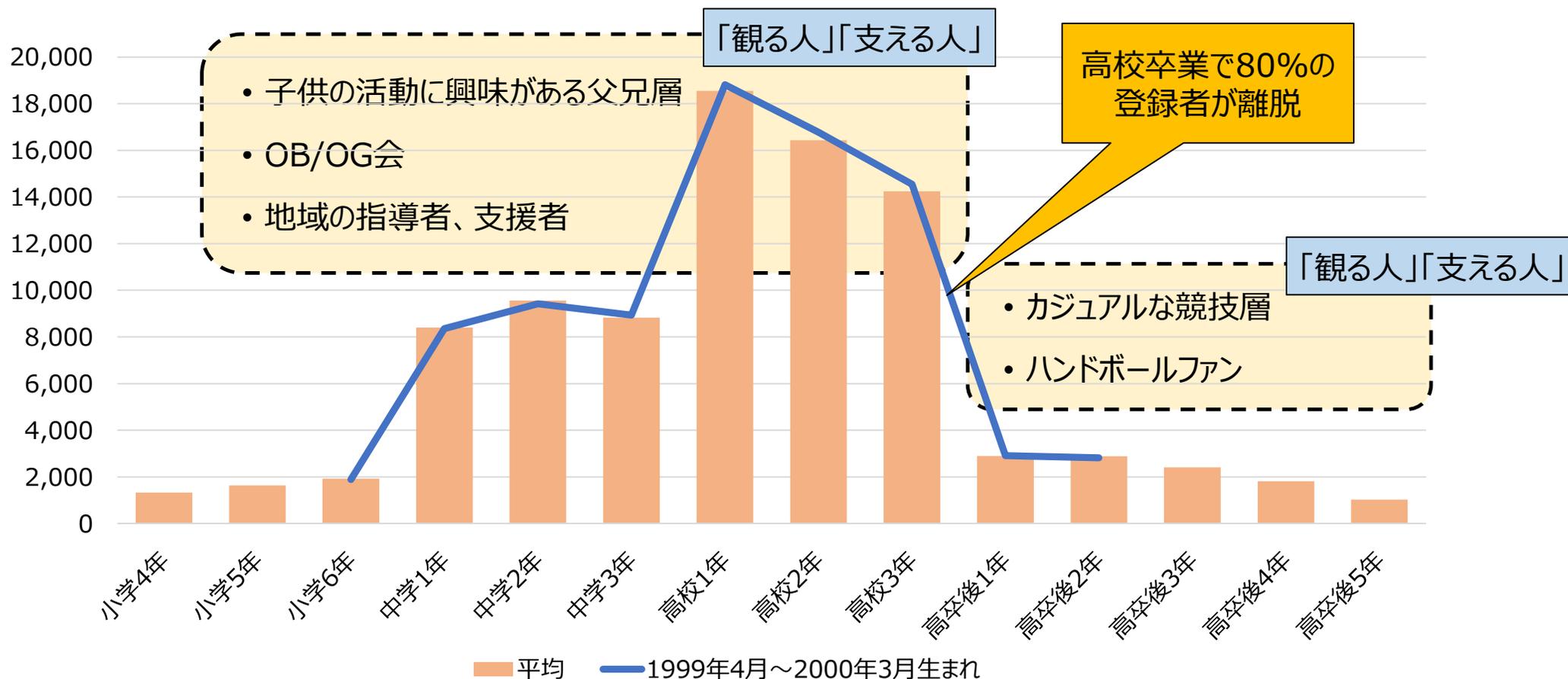
本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、公益財団法人日本ハンドボール協会が実施した2020年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業（中央競技団体による普及・マーケティングに係るモデル形成支援事業）」の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

1. 本件取り組みの背景

日本ハンドボール協会の従来の普及戦略は、①学校教材として学習指導要領に「ハンドボール」を入れて、②ハンドボールを教えることが出来る教員を養成すること、③学校部活動としてハンドボール部を増やすこと、が中心あった。これにより少子高齢化が進む中においても競技登録者を増やすことに成功した。

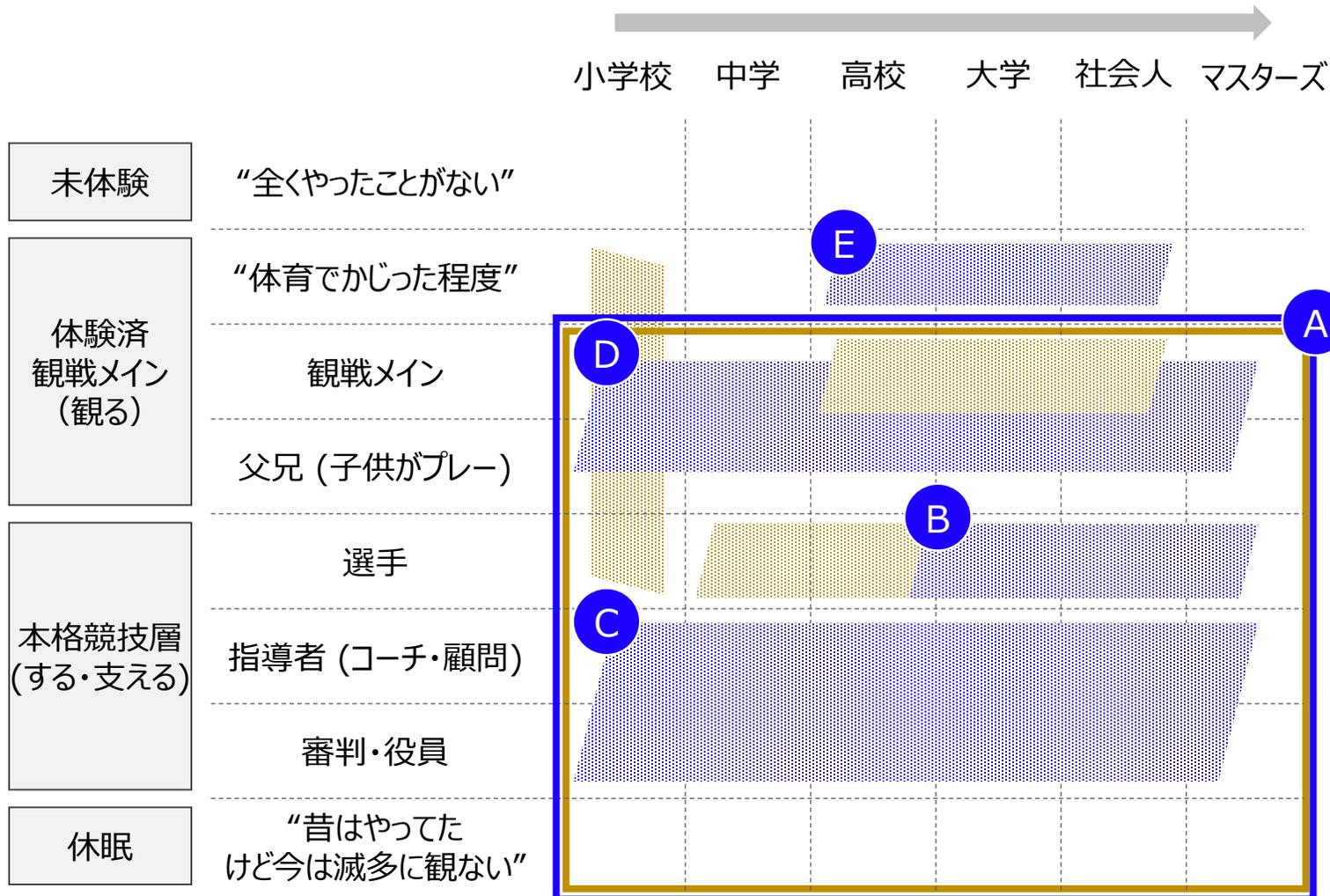


しかしながら、少子高齢化の更なる進展や、先生の働き方改革・学校部活動の見直しが加速することが不可避な状況。また、学校教育に依存していた弊害で、高校卒業後の競技機会（チーム、指導者、大会運営者等）充実にリソースを振り向けられなかったため、せっかく学校教育を通じて獲得した競技者が、卒業とともに大半が離脱するという課題が露呈した。また、競技者の獲得にだけでなく、「観る人」「支える人」を増やす取り組みが必要との認識に至った。



本事業では4年間で5つのプロジェクトを実行する。

ハンドボールとの関わり方



- A** 全年代・全員の出場試合スタッツを
会員サイト上で個人に紐づけて管理
試合スタッツ全網羅 PJT
- B** 高校卒業後もカジュアルにハンドボールを
続けられる機会・気運づくり
Over18 PJT
- C** デジタルを活用した研修・マッチング提供
指導者・審判・競技役員サポート PJT
- D** リーグの試合動画を再編集してPV化
横断的な露出による観戦きっかけづくり
動画再活用 PJT
- E** ハンドボール自体のポジショニング再定義
シンボルアスリートの輩出と露出
攻めの広報 PJT

初年度実施事項については概ね計画通りであり、引き続き5つのプロジェクトを推進する。

A

全年代・全員の出場試合スタッツを
会員サイト上で個人に紐づけて管理

試合スタッツ全網羅 PJT

競技者・関係者登録向けに新会員登録システム「マイハンドボール」をリリース済。
大会機能の利用開始と拡張機能（ファン向け）の実装を進める。

B

高校卒業後もカジュアルにハンドボールを
続けられる機会・気運づくり

Over18 PJT

アンケート結果を踏まえ、大会実施に向けて準備を進めていく。
各地方協会等からPJTメンバーを募る形で仲間を増やしながら詰めていく。

C

デジタルを活用した研修・マッチング提供
**指導者・審判・競技役員サポート
PJT**

既存の研修用アセットとともに新会員登録システム「マイハンドボール」とeラーニング
システムを連携する。

D

リーグの試合動画を再編集してPV化
横断的な露出による観戦きっかけづくり

動画再活用 PJT

2020年度実施のJHLTV（日本リーグ動画配信）の改善とプレーオフに向けて
ハイライト映像制作を実施。動画再活用によるプロモーション強化を進める。

E

ハンドボール自体のポジショニング再定義
シンボルアスリートの輩出と露出

攻めの広報 PJT

アンケート結果からのポジショニング再定義を踏まえ、他競技からの転向で活躍して
いる選手を中心に露出機会を増やしていく。